

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

異分野共創型の AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築

3. 研究開発課題名

社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

上東 貴志(神戸大学計算社会科学研究センター センター長)

5. 評価結果

評点: B (やや劣っている)

総評:

本研究開発課題は、パンデミックやインフォデミックのような人々の社会活動により拡大するリスクを、入手可能なデータとシミュレーションにより客観的に推定・可視化し、リスクに対して最適な意思決定を行うことを目指すものである。

探索研究では、異なる社会リスクに対して共通の分析手法を適用させようとする高い目標に向け、現実的に利用可能なデータを用いた分析手法の確立において、一定の成果が出ている。また、時流を得たテーマに対し、各研究グループの学術領域視点からの成果創出と発信を活発に行っていることも評価できる。

一方、研究プロジェクト全体としての目標設定や概念の明確化、研究グループの成果を統合してどのような支援ができるのかの見通しには、不十分な点が認められる。

今後は、社会実装に向けた社会への働きかけや仕掛け作りも含めた、研究開発が発展することを期待する。

以上